

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

# 北教だより

茨城県県北教育事務所

令和7年2月3日(月)

第16号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

## 「学びのイノベーション推進プロジェクト」公開授業が行われました

本事業は、児童生徒の学習上の課題を改善し学力向上を図るため、「探究的な学び」における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したモデル授業を発信し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進するねらいで実施しています。今年度の実証研究校の実践を紹介します。

### 【国語】北茨城市立精華小学校

#### ◎全国学力・学習状況調査における 県の課題を意識した授業づくり

【県の課題】「小学校学習指導要領解説 国語編」より

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、**事実と感想、意見を区別して書いたりする**など、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(B(1)ウ)
- 引用したり、**図表やグラフを用いたり**して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(B(1)エ)

#### <県の課題を意識>

事実と感想、意見を区別して線を引いたり、引用した資料から感じる印象などを記入したりすることで、書き手が伝えたいことが分かりやすく伝わっているかを吟味している。



#### <個別最適な学びの場>

公開授業学習指導案より抜粋

① 情報を書き写す時間を省くためにタブレットが便利だと伝える。  
・手書きでもメモしてよいことを伝える。

【指導上の留意点】

原稿作成のための資料集めや下書きについて、児童本人が方法を選べるようにしている。

4 メモをもとに原稿を書く。  
○タブレット  
○ワークシート

【学習内容・活動・児童の思考】

#### <協働的な学びの場>



友人の原稿の下書きをよりよいものにするため、事実と感想及び、意見や考えが書かれているか、文と資料との結び付きが妥当かについて検討している。



### 【英語】日立市立大久保中学校

「中学校学習指導要領解説 外国語編」より

#### 【話すこと[発表]の目標】

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

#### 【目標を達成するための手立て】

相手意識をもった上で、自分の意見やその理由を示しながら、まとまりのある内容を話すことができるようにオンラインを活用し、直接やり取りを行いながらALTの興味や関心について情報収集を行う。

#### 【本時の目標】

日本に初めてきたALTに英語で取材を行い、茨城県の魅力を伝えるためのPR動画作成に必要な情報を収集しよう。

#### <個別最適な学びの場>

公開授業学習指導案より抜粋

○共有の中で得られた情報をもとに、自分が聞きに行きたいALTを決めて、そのALTのところで改めて取材を行うよう助言する。

【指導の手立て】

1回目の取材後全体で情報を共有  
2回目の取材は自分でALTを決定

5 取材内容の共有後に、より情報を得たいALTに各自で質問しに行く。

【学習活動・内容】

#### <協働的な学びの場>



必要な情報を収集するために、どんな質問をしたらよいか相談している場面



他校のALTにオンラインで取材を行っている場面